

コロラドスタディツアー2016

(7月30日～8月10日)

実施報告書



(公財)出羽庄内国際交流財団

目 次

コロラドスタディツアー

- ◆ はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 1
- ◆ スタディツアー 日程表・・・・・・・・・・ P. 2
- ◆ デンバー地図・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 3
- ◆ 日記・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 4
- ◆ 参加者によるツアー全体報告書・・・・・・・・ P. 16
 - ◇ 金野 蓮（鶴岡中央高等学校 2 年）・・・・・・・・ P. 16
 - ◇ 岡村 南（鶴岡南高等学校 1 年）・・・・・・・・ P. 18
 - ◇ 佐藤 誉浩（鶴岡第一中学校 3 年）・・・・・・・・ P. 20

はじめに

出羽庄内国際村では、2008年に「コロラドツアー」を開始し、今年で9回目を迎えました。これまで述べ53名の中学生から社会人の方に参加していただきました。初めてのころに参加した中学、高校生たちは大学生、社会人になり、また参加当時社会人だった方々も含めて、皆さん様々な分野で活躍されていることと思います。

さて、今年の一般向けツアーは中学3年から高校2年までの男子生徒3名が参加しました。例年より少ない人数でしたが、年齢が近いこともあり、お互いよいチームワークができ絆が深まったツアーになりました。今年は、旅行準備などの事前研修のほかに、庄内町で外国語指導助手をしているコロラド州出身のマシュー・ファレルさんからご協力いただき、3回の英語特別レッスンを実施しました。それまではアメリカに行くことが具体的に想像できていないようでしたが、このレッスンを受けてアメリカの家庭のことやコロラドについて学び、このツアーを現実的に考えられるようになりました。

ツアー中は、一般家庭にホームステイをし、アメリカの日常生活を体験することができました。ロッキー山脈でのラフティングや乗馬などでは自然を満喫し、日系人会ピクニックでは芋煮をふるまったり花笠踊りを披露するなど、それぞれの活動で現地の人との交流を持ちながら楽しく充実した毎日を過ごしました。

このように今年も無事に素晴らしい体験ができたのは、現地で私たちを温かく受け入れてくださった方々のおかげです。毎年このツアーの調整、並びに現地での同行をしてくださる村治孝浩さんや、ホストファミリーの調整をしてくださったジム・キダーさん、やさしく英語を指導してくださったジャン・ハンフリーさん、またコロラド日系人会、コロラド日米協会の皆様に感謝いたします。

この報告書では参加者が経験したこと、感じたことをそれぞれの視点で書いています。この報告書がツアーで得たものの記録となり、また来年度以降ツアーに参加することを検討されている方々へのヒントとなればと思います。

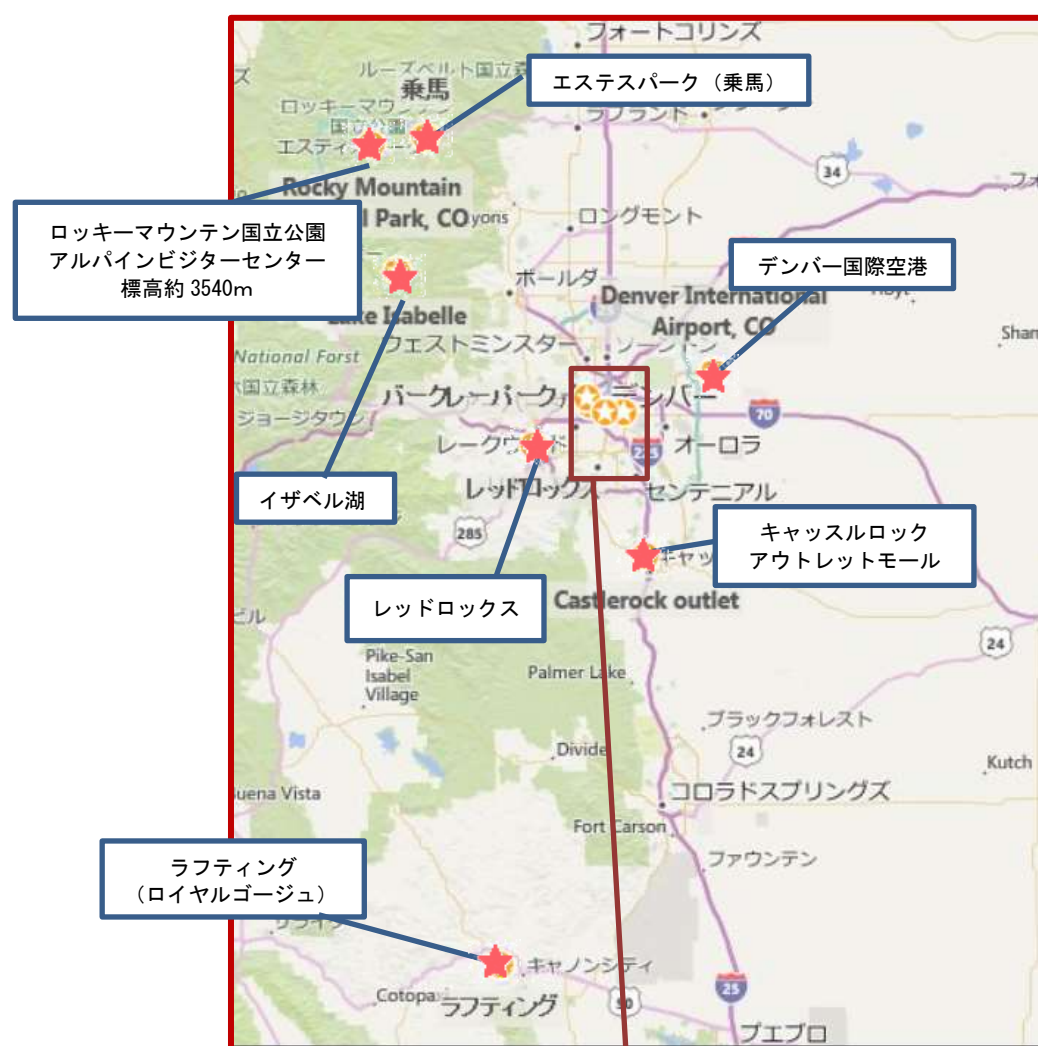
(公財) 出羽庄内国際交流財団
佐藤 綾子

スタディツアー 日程表

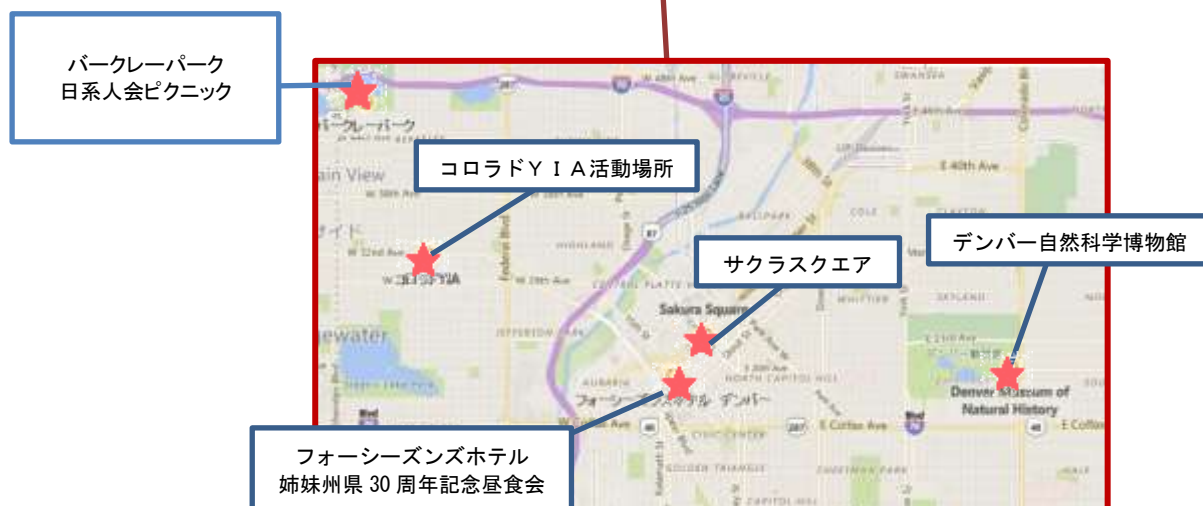
期間：2016年7月30日～8月10日 12日間

月日	時間	訪問先など	備考
7/30	8:40	庄内空港→羽田空港	全日空 396 便
	17:30	成田空港出発	ユナイテッド航空 138 便
	14:30 ※現地時間	デンバー国際空港に到着、 ホストファミリー宅へ移動	
7/31	終日	ホストファミリーデー	
8/1	終日	イザベル湖ハイキング ボルダー市見学	
8/2	午前	オーロラウェルカムセンター	英語学習（1回目）
	午後	デンバー自然科学博物館見学	
8/3	終日	ロイヤルゴージュでラフティング	
8/4	午前	レッドロックス見学	
	午後	オーロラウェルカムセンター	英語学習（2回目）
	夕方～	コロラドユースインアクションの メンバーと交流会	
8/5	午前	ロッキーマウンテン国立公園	
	午後	エステスパークで乗馬	
8/6	終日	ホストファミリーデー	
8/7	午前～昼	日系人会ピクニックに参加	
	午後～	ホストファミリーデー	
8/8	午前	オーロラウェルカムセンター	英語学習（3回目）
	昼	姉妹州県 30 周年記念 ランチ	フォーシーズンズ ホテル デンバー
	午後	チェリークreek	
8/9	12:40	デンバー国際空港 出発	ユナイテッド航空 139 便
8/10	21:20	羽田空港→庄内空港	全日空 399 便

コロラドスタディツアー 訪問先マップ



■ デンバー中心街地図



コロラドスタディツアー 日 記

7月30日（土） ～1日目～

担当：岡村 南



いよいよ日本を出国します。
僕たちはそれほど緊張することなく、笑顔で出国できました。

機内では機内食や映画、音楽なども聞くことができ、意外と快適でした。でもやっぱりきつかった。

約10時間のフライトを終え、ついにアメリカへ第一歩を踏み入れました。

アメリカに着いて最初に思ったことは、「でかい！」です。空港はもちろん、周りの建物や家、道路、食べ物、人柄……。日本とは違うアメリカのスケールの大きさに驚かされました。英語は思っていたよりも通じました。話すことよりも聞き取ることの方が大変です。



この日は市内観光をして終わりましたが、それだけでもすごく楽しかったので、もっと楽しいことが待っているのかと思うと、とてもわくわくします。ホストファミリーとも早く仲良くなりたいなあ。



7月31日（土） ～2日目～

担当：岡村 南

今日はホストファミリーデーでした。午前中は隣の家ステイしている菅浩のホストファミリーと一緒にプールに行きました。飛び込み台やバスケットリングがあったりして、ここでもアメリカのスケールの大きさに驚かされました。

午後からは映画館に行って、「ジェイソン・ボーン」を観てきました。まさかアメリカで映画を観られるとは思いませんでした。英語が難しくて内容がよくわかりませんでしたが、久しぶりに映画を見たのでとても楽しかったです。

夜ご飯はステーキをごちそうしてもらいました！おいしかった！食後に日本から持ってきた扇子、手鏡、日本のお菓子などのプレゼントを渡したらとても喜んでくれました。良かったです。

今日はホストファミリーともたくさん話ができ良い一日を過ごせたと思います。英語にもだんだん慣れてきたので、この調子で頑張るぞ！



8月1日（月） ～3日目～

担当：佐藤 誉浩

今日はイザベル湖にハイキングに行きました。標高が高く高山病になりやすい環境だと、身体で実感しました。行きの最初のうちは蓮先輩と綾子さんはとてもだるそうでした。高山病か車酔いにでもなったのでしょうか？結構辛そうでした。

イザベル湖までの道のりは長く、最初は余裕で話をしながら歩いていられましたが、そのうちにどんどん辛くなりました。しかしあまりにも雄大な自然のおかげで、あまり気持ち悪くはならず済みました。

やっとイザベル湖へついて、そばの岩に座り昼食&休憩タイムを取りました。南先輩はたくさん食べていて、自分は少し食べましたが、あとはそよ風が心地よくて寝てしまいました。蓮先輩は湖に着いた直後からすぐに寝ていました。

休憩タイムも十分とり、帰り道は下りだったのでそんなに辛くはなかったです。自分と蓮先輩は休みたい一心で、みんなより早く進み、小さな小川で雑談をしながら休んでいました。しばらくしてみんなと合流して、順調に降りて行きました。充実した一日でした。



8月2日（火） ～第4日目～

担当：岡村 南

今日はアメリカでの初の英語レッスン！最初はみんな少し緊張していてあまり会話が続きませんでした。でも時間が経つにつれてだんだんと打ち解けてきて、初めてのレッスンでしたが素晴らしいものになったと思います。

レッスンでは主に日常会話でよく使われるフレーズや、アメリカのお金について詳しく教えていただきました。ジャン先生ありがとうございます！



午後からはデンバー自然科学博物館に行ってきました。恐竜の化石や生き物のリアルなはく製など、初めて見た物ばかりでとても驚きました。誉浩とは脳波で対決する装置を試しました。すごく楽しかったです。

夜は近くの有名なアイスクリームショップに行ってきました。味が日本のものより濃くておいしかったです。

明日はラフティングに行く日。楽しみだなあ。



8月3日（火）～第5日目～

担当：佐藤 誉浩

今日はラフティングをしに行きました。本当はクリアクリークという場所でやる予定でしたが、川の水が足りなかったなので、ロイヤルゴージューという場所に変更になりました。

上流へ向かうためのバスがとても面白かったです。

いざ出発地点に到着するとまだそこは緩い流れで安心してしまいました。私達が乗るボードのガイドはオジーさんという人で、屈強で頼もしかったです。オジーさんは専用の2つの大きなオールを持っていて、とても安心していました。しかし、ボートに乗ってしばらくすると、なかなかの急流が見え



てきました。そこはまだ4段階のクラスのうちの「クラス1」だと聞いて、「本当？Really?」と思ってしまいました。とうとうその急流にボートは突っ込んでいきました。思ったよりも楽しかったです。その後も急流の連続で時々オジーさんがボートを岩にぶつけたり、乗り上げたりしてびっくりしながらもとても楽しい時間を過ごしました。



流れが緩やかな場所にきた時、オジーさんが、「あその岩から飛び込めるぞ」と、言ったので、私と南先輩は泳いで向こう岸まで行き、岩から飛び込みました。川の流れが見た目より強かったのですが、とても楽しかったです。

今日もエキサイティングな一日が過ごせて、とても良かったです。

8月4日（火） ～第6日目～

担当：佐藤 誉浩



今日はとても予定の詰まった一日でした。

まず初めにレッドロックスに行きました。標高が高いことを知っていて、あえて蓮先輩と階段を思いっきり駆け下りました。調子乗り過ぎました。喉に何か突き刺さる感覚を覚え、息苦しくなりました。驚いたのは、南先輩は謎の余裕を見せたことです。腕立て伏せまで始めて、南先輩の強さを知りました。

その後アウトレットモールでショッピングもしました。それぞれ思い思いの買い物をしました。

午後からは英語のレッスンを受けました。英語で道の説明をするなど、中々楽しい授業でしたが、宿題が出て少し驚きました。

夜はコロラドユースインアクションの人達と交流をしました。最初はほぼアドリブの英語の紙芝居をして、少々、戸惑ってしまいましたが何とか成功しました。そのあとは「はないちもんめ」をしたりして、アメリカの同世代の人達とたくさん交流できたので良かったです。一つ心に残ったのは、ユースインアクションのメンバーの美人な女の人と写真を撮るために、蓮先輩と試行錯誤していたら、南先輩が話題のカメラアプリを使い言葉巧みに写真を一緒に撮っていて、先を越されたのでショッキングでした。でも最後はみんなでとれたので良かったです。



8月5日（火） ～第7日目～

担当：金野 蓮

今日の午前中はロッキーマウンテン国立公園の見学。午後からは乗馬体験という日程でした。

まず、ロッキーマウンテン国立公園では長時間のドライブに酔わないようにと景色を見ることもなく公園へ到着。目を開けると、なんだか景色がもやっとしている。あいにくこの日は霧が濃くあまり景色を楽しむということではできなかったのですが、ものすごい霧もなかなか体験することがないのでいい体験でした。頂上では酸素の薄さを実感しました。少し動くだけで息苦しくなる感じがしてトレーニングをしているかのようでした。



乗馬へと向かう道中では、たまに霧が薄くなるときに車から降りて散歩することができました。日本ではあまり感じることもできないような道や岩の雰囲気を感じました。私は自然が好きなので楽しかったです。そして、車を走らせているとたくさんの車が停車していて、止まり人だかりができていたのが見えました。「これはなんかおるで！」孝さんの言葉に期待を寄せるとエルクを発見！日本では見ることもできない野生動物に興奮しました。

その後少し道を迷いつつも乗馬体験の場所へ到着。

乗馬体験はこれが人生初。過去に馬が暴れたことがあると話を聞いて少し恐怖を覚えていたのですが、馬に乗ってみると大人しい。ここでひと安心。操作などは簡単ですぐに慣れ、順調に進みました。とても風と乗り心地がよく楽しむことができました。

コースの途中には下り坂もあり、そこではスピードも上がり揺れも大きくなるので振り落とされるかと思ったけれどそんなこともなくスリルを味わうことができました。

私の後ろでは誉浩が若い馬になめられ、草を食べはじめのを阻止できずに「No!」と言っているのが聞こえ楽しかったです。

初めての乗馬体験はとても新鮮で、日本では味わえない生き物との関わりや生き物ならではの乗り心地などを体験することができ、有意義なものでした。次にコロラドに行ったときもまた挑戦したいと思います。



アメリカに来てからというもの、一日が過ぎるのがとても早く感じました。今日は、ロッキーマウンテン国立公園でのコロラドならではの立地や自然に触れることができました。乗馬体験では、初めての体験ということで楽しむことができたし、生き物との関わりという点でもいろいろ考えることができて良かったです。

8月6日（火） ～第8日目～

担当：金野 蓮

今日はGenevieveファミリーとのホストファミリーデー！

今日のスタートは朝ご飯を買いにドーナツ屋さんへ！アメリカのドーナツ屋さんで聞いて期待に胸を膨らませ入店…すると、そこには回転するドーナツたちが。それもカラフルなものやたくさんチョコのかかったおいしそうなものばかり…ドーナツを買い公園で食べました。もう日本でドーナツは食べられないと思うほどおいしかったです。

次にリュックを買いたいと言っていた私をショッピングに連れて行ってくれました。コロラドにしかないブランドやデザインのものを紹介してもらい、少しですが文化に触れることができたのかなと思います。

お昼ご飯はお店でタコスを食べました。タコスはメキシカン料理で、日本で想像していたものとは違い生地や具も全く違っておいしかったです。

そのあと、ハイキングに連れて行ってもらいました。しかし、あいにくの雨ですぐに引き返しました。日本とは比べ物にならないサイズのバッタなどを見ることができておもしろかったです。

家に帰ったあと、映画に誘われたので挑戦してみることにしました。「インディペンデンスデイ・リサージェンス」という映画で、もちろんすべて英語。なかなか聞き取ることは難しかったものの雰囲気ですトーリーをつかむことができました。日本でも英語で映画を見ることに挑戦してみたいと思います。

夜ご飯は、brothers BBQ でたくさんの肉を買いました。硬めのお肉をイメージしていたのですが、とても柔らかくおいしかったです。

私は、ホストファミリーが途中で変わったので Genevieve さんの家族とのホストファミリーデーは初めてでした。アメリカの食文化を外食で実感することができました。映画を通して英語にも触れることができて充実した一日を送ることができました。

子供のアーサーとフレイヤとも猫のドゥードルを通して一緒に遊んだりして仲良くなることができました。



8月7日（日）　～第9日目～

担当：金野　蓮

本日の予定は日系人会のピクニック！いよいよ花笠を披露する日が来ました。

朝早く集合してリハーサル…やはり南がセンターを決めピラミッド型のフォーメーションになりました。体は思っていたよりも覚えているものですが、すぐに踊れました。そこからピクニックの会場に移動して芋煮の準備…となるはずが、道に迷うという楽しいハプニング。なんとか会場に着き準備スタート。大きな鍋なので味付けが難しかったのですが、天才的な孝さんの舌によって芋煮の味が定まりました。山形県の訪問団が来る中、芋煮も完成。いよいよ配膳開始。思っていたよりもはるかに多いお客さんが来て大変でしたが、みんなに芋煮を食べてもらうというのは嬉しかったです。

ひと段落ついたところで、誉浩とみんなの飲み物を取りに行くことに。そこでなんとも楽しい事件が。孝さんに教わった「Could you～?」の言い方をあやふやに覚えた誉浩が、日系人の女性に「Could you…いいですか?」という、英語と日本語が混ざった衝撃的な質問をしたのです。それも誉浩が「かわいい!」と言っていた浴衣の子の前で…。今回のツアーで一番の迷言でした。



それはさておき、いよいよ花笠本番。たくさんの方が注目する中ミュージックスタート。緊張するかと思っていたのですが、思いのほかリラックスして踊ることができて無事成功に終わることができました。

このピクニックでは文化的な交流をすることができて良かったです。庄内の食文化を伝えることができたし、私たちは本場の英語に触れることができた貴重な体験でした。

8月8日（月） ～第10日目～

担当：金野 蓮

今日はいよいよ最終日。あっという間だったツアーを締めくくるのは姉妹州県 25 周年記念の食事会。

午前中はオーロラウェルカムセンターで最後の授業でした。ジャン先生の授業はとても楽しくて、日本では学ぶことのできない文法の使い分けやアメリカのお金について、道案内の仕方など、とても身になることばかりでした。さらにアメリカの文化についても触れることができていい経験になったと思います。

午後からはコロラド州と山形県の姉妹州県 30 周年ということで、それを記念する食事会が開かれ我々も招待していただきました。ここで孝さんの関西弁。時間が押していて間に合わないかもしれないという状況。「これはぎりちょんやな〜」。ぎりちょん・・・？これはぎりぎり間に合うかなあという感じ。勉強になります。

会場のホテルに着くとフォーマルな会ということで固い雰囲気でした。会場には日系人の方が多くいましたが、日本語ではなく英語しか話せない人がいたりして文化というか、不思議な感じがしました。



昼食会の間に私たちのツアーについて紹介を受けました。さらに、アスペンという葉っぱを使ったコロラド州の記念品もいただくことができよかったです。会が終わった後、幸さんの昔のホストファミリーの人が来ていて、誉浩がその人と一緒に写真を撮りたがっていると、撮ってもらえることに。今日一番のテンションを見せる誉浩でした。

このあとはチェリークリークでショッピング。孝さんと一緒に買い物ができてとても楽しく、孝さんのセンスが光っていました。

12 日間の締めくくりの日。今日も授業や食事会の中でアメリカについて学ぶことも多くとても充実したものになりました。

8月9日（火）、8月10日（水）～第11、12日目～

担当：佐藤 誉浩

今日はいよいよ最終日です。

僕のホストファミリーは朝早いうちにみんな子供達のテストの送迎や仕事があったのでお別れしました。でも、前日にみんなと一緒に写真を撮れたので最高の極みの塊でした。

しかし、出発直前に自分がパスポートを無くすアクシデントを起こしてしまいました。その日は南先輩のホストファミリーの家に朝からお世話になっていて、ベーコンを食べるのに夢中でなくなっているのに気が付きませんでした。もしかしたらと、ホストファミリーの家に駆け込むと、防犯用のサイレンが鳴り、慌てふためいてしまいました。ソファの上にあるのを見つけほっとしました。今日初めて、「日本に帰りたい」と思いました。

この最終日はとてもデンジャラスな一日でした。これからの海外に行くときは気を付けねばと教訓になりました。



コロラドスタディツアー 報告書

コロラドスタディツアー報告書

鶴岡中央高等学校 2年 金野 蓮

今回コロラドスタディツアーに参加したきっかけは、自分の先輩が去年参加していてその人に勧められたことと、そして将来英語は何をするにしても重要になってくると思ったことです。

行く前は入国審査や自分の英語が通じるのかという点で不安もありました。しかし、当日には楽しみの方が大きくなり、入国審査はなんとか通過することができました。そこからはもう何もかもが新鮮で楽しいことばかりでした。ホストファミリーともカタコトの英語でなんとか会話もできました。会話をする中でボキャブラリーがとても大切だなというのがとても大きかったです。ホストファミリーはみんな優しくて私のカタコトな英語を必死に理解してくれようとしてくれて少し申し訳ない気持ちにもなりましたが、嬉しかったです。



現地でのアクティビティは、ラフティングやハイキングなどで現地の人との交流もしながら楽しむことができて、良い経験になりました。ハイキングをしている時に、すれ違う人に英語であいさつをしたり、「お先にどうぞ」などという小さな会話をしたことも貴重な体験です。ハイキングをしたイザベル湖では天気も良く、湖の水もちゃんと残っていてとてもきれいでした。日本では見られない景色でした。ラフティングでは、川の水量の都合で、当初予定していた初心者向けから中級者向けのコースに変更になり、泳げない私は不安でした。しかしボートが進むととても気持ちがよく、景色も良くて、たまにある急な流れも楽しむことができました。



アメリカの食べ物は予想通りすべてが大きくてどれもおいしいものばかりでした。私は毎日欠かさずアイスを食べました。食べ物で印象に残っているのは、孝さんがチョイスしたアンチョビのピザです。残念ながら私の好みではなかったのですが、びっくりする大きさに印象に残っています。

ツアーに参加してみて一番良かったことは、やはり英語にたくさん触れられるということです。ホストファミリーや、すれ違った人、お店の人たちとのあいさつに、“Hi”、“Hello”と言うのはとても新鮮でした。ホストファミリーとの“今日は何してきたの？”という会話も、英文を自分で考えて話すのは初めは難しかったけど、だんだん楽しくなってきました。

アメリカで本場の英語に触れてみて、学校の授業では全然足りないと実感しました。本場の英語をいざ目の前にすると、まず聞き取れないということ、話そうとしても、英語が出てこないということを実感しました。これらのことはアメリカでないと身に着けるのが難しいことだと思いました。2週間という短い期間でしたが、英語に対する意欲が高まりました。このツアーでの貴重な経験を自分の進路に向けての一步にできるように学習に生かしていきたいです。

実際に来ないと良さがわからないものなので、英語の勉強もできて楽しめる最高のこのツアー。みなさんもぜひ参加してみてください！

コロラドスタディツアー報告書

鶴岡南高等学校 1年 岡村 南

僕がこのツアーに参加した理由は、「海外がどんなものか見てみたい」という単純なことからでした。英語はそれほど話せませんでしたが、学生のうちに海外へ行ってみたかったのでこのツアーに応募しました。

アメリカに着いて最初に思ったことは「デカイ」です。周りの建物、道路、車、家…すべてが日本よりも大きくて、アメリカのスケールの大きさに驚かされました。

このツアーでの体験は本当に充実したものでした。全部を書こうとすると書ききれないので、特に思い出に残っているものを書こうと思います。

1つ目はホストファミリーと初めて会って話をした時のことです。本場のアメリカ人と初めて話した時なので、とても緊張してしまったことを覚えています。

僕のホストファミリーはジョンさん、ナンシーさんの二人暮らしの家庭でした。二人ともとても優しくて、恥ずかしがってあまり話せずにいた僕に気さくに声を掛けてくれました。おかげでその日のうちに2人と打ち解けて、英語にも少し慣れることが出来ました。話すことが精いっぱいな日でしたが、その間にも家のデカさに驚いていました。バスルームが4つもあって、本当に広かったです。



2つ目はイザベル湖へのハイキングです。標高が高いところにある湖なのですが、コロラドに来る前から、「高山病に気を付けるように」と、何回も言われていたので、自分がならないか不安でした。確かに酸素が薄く、すぐに息が上が



ってしまいました
が、気分が悪くなっ
たりすることはない
と、楽しく上ること
が出来ました。本当
に良かった・・・。
アメリカの自然は
本当に美しく、歩
いている途中で景
色に見とれてしま

って石に躓くこともありました。湖の隣で自然に囲まれながら食べた弁当は最高においしかったです。

3つ目は日常の中で英語を使って話したことです。アメリカへ行く前、僕はちゃんと自分の英語が通じるのかとても不安でした。でも、実際に話してみると意外と通じました。学校などで習ってきた英語が現地でも生きて、アメリカの人と話すことが僕にとっては楽しくて仕方ありませんでした。話すことよりも英語を聞き取る方が難しい！と、感じました。相手が何を伝えたいのか聞き取れなければ、自分は何も話すことが出来ないということに気が付きました。日本人が英語を話せないと言われる原因はこれだと思います。これからは英語をもっとしっかり聞いて、リスニング力を向上させたいです。

このツアーを通しての一番の収穫は、自分の世界が広がったことです。日本とは全く違う文化を見て、触って、肌で感じたことによって、今までの自分の小さな世界が壊れたような気がします。海外を自分にとって身近なものとして感じられるようになりました。

僕はまたいつか絶対コロラドへ行こうと思います。そしてホストファミリーにもう一度会って、感謝の気持ちをしっかり伝えたいです。

ホストファミリーはもちろん、国際村の皆さん、現地で僕達を楽しく案内してくださったコーディネーターの孝さんには本当にお世話になりました。様々な体験をし、多くの人と関わる事ができたこの夏は忘れられない思い出になりました。本当にありがとうございました。

コロラドスタディツアー報告書

鶴岡第一中学校 3年 佐藤 蒼浩



今回私はコロラドスタディツアーに参加して様々な事を学び、感じました。日本の自然とは全く違うアメリカの大自然。デンバー国際空港に着き、アメリカの空気の温度、湿度など違いがありました。さらにコロラドはとても標高が高く、なんとなく違う空気だなということも感じました。ツアーの初めは少し不安を感じていました

が、コーディネーターの孝さんの関西弁が少し私を安心させました。

到着後、いよいよホームステイ先の家族とも会い、本格的なコロラドでの生活が始まりました。優しいお姉さんのケイトリン、ゲームが好きな長男のローガン、少しやんちゃな次男のチェイスと、お母さんのシンシア、お父さんのマットが私のホストファミリーでした。ホストファミリーとは最高の時間を過ごしました。まず、出会って最初のホストファミリーデーでは、プールに連れて行ってくれました。隣の家にはステイしている南先輩も一緒に行って、ホストブラザー達と一緒にアメリカの簡単なゲームをしました。ルールの説明が少し難しかったですが、実際にやってみてルールを理解しました。ホストブラザー達とは身振り手振りでも何とかかなりそうでした。飛び込み台もあったので南先輩と飛び込みもしました。前回り宙返りができて楽しかったです。そのあとはプールの脇にあったバスケットリンクで南先輩とホストファザーとで“P・I・G”というゲームをしました。毎回僕が最下位で笑えました。最高の一時を過ごせました。それから毎日の夕食ではホストマザーが色々な国の料理を作ってくれて、その度に僕は外国の味に感激しました。最後のホストファミリーデーの時は、午前にはシンシアとケイトリンとで、買い物に行きました。僕は服を沢山買って満足していたら、シンシアが日本の家族のお土産を買おうと言ってきて、一緒に買いに行きました。チョコを買ってもらって、とても満足しました。午後からは少し子供達と遊んで、それからメジャーリーグの試合を見に行きました。

ホームチームのコロラドロッキーズとドジャーズの試合だったので、会場は物凄く盛り上がっていて凄かったです。ロッキーズの先頭打者がいきなりホームランを打つと、全員が歓喜して BGM が大音量で流されました。実況が何を言っているのかさっぱりわかりませんでした。ホストファミリーのおかげでアメリカ人の盛り上がり方を知れて良かったです。

ホストファミリーとお別れの時、子供のローガンとチェイスが寂しがって来て、僕も寂しかったです。最後は家族全員とハグをして別れを告げました。最高のホストファミリーでした。また会いたいです。

ツアーの中では色々なアクティビティがありました。まず 3 日目にイザベル湖にハイキングに行きました。標高の高さを体感できたハイキングでした。序盤は楽々スイスイで進んでいたのですが、僕はだんだんと足取りが重くなり、疲れてきました。しかし南先輩はとても元気で孝さんとずっと話していました。蓮先輩は中々辛そうでした。やっとのことでイザベル湖に着きお昼を食べて休憩を取った後、私はひたすら眠りました。そよ風がとても気持ち良かったです。帰りは坂を下るだけだったのでわりと楽でした。

他にもロイヤルゴージュという場所にラフティングにも行きました。最初はかなり穏やかな流れだったので安心しましたが、進んで行くと全然そんな事はなく、川幅が狭くなり流れが急になってきて、荒れ狂った流れへと飛び出して行きました。ガイドのオジーさんが時々わざと軽く岩にボートをぶつけたので、その度にヒヤッとしました。怖かったです。でも周りの景色に圧倒されて、その絶景が怖さを少し癒してくれました。空気が澄み渡っていて気持ち良かったです。

英語の授業はジャン先生に教えてもらいました。最初はそれぞれ自己紹介をしましたが、他のみんなはさすがの英語の上手さで、自分が一番下手だったと思いました。最初の方はアメリカのコインの呼び方などを習いました。クォーターやダイムなど、特徴的な発音で少し覚えにくかったですが楽しかったです。ジャン先生は授業の最後に宿題を出しました。それは本当はホストファミリーに聞いて、ホストファミリーとコミュニケーションをとるようにと出してくれた宿題でしたが、僕はシャイなので、インターネットを使って 1 人で調べていました。この事は少し後悔しています。ジャン先生の授業では文法などのよりも、実用的な英語をたくさん教えてもらいました。道の教え方や許可の取り方など、すべて英語で覚えました。とても充実した授業でした。最後の授業ではジャン先生がみんなに修了証書をくれて、私の一生の宝物となりました。

全体的には、最高のコロラドスタディツアーだったと思います。毎日たくさんの予定が入っていて、コロラドの全てを知り尽くせる最高のツアーでした。予定が詰まっていたても、きちんとホストファミリーや現地の同世代の人達と交流できる機会もあり、英語の上達にも確実に繋がっていったと思います。このツアーを通して、アメリカや、コロラドの文化、自然を学びました。これは一生のものだと思っています。これからの生活の中や、また今度海外に行く時に、今回のツアーの経験や課題を生かしていけるとと思います。



個人的にこのスタディツアーが一番だと思っています。できるのであれば、また来年も行ってみたいです。



(公財)出羽庄内国際交流財団